

古川美術館

1993年に名古屋を代表する実業家 古川爲三郎によって創設された美術館で所蔵作品は約2800点及びます。コレクションの中心は明治以降の日本画です。年3回から4回のコレクションを中心とした企画展のほか年2回ほど特別展を開催いたします。



主な収蔵品作家

・横山大観 ・川合玉堂 ・上村松園 他多数



横山大観



川合玉堂



上村松園



主には明治以降の日本独自の芸術作品を一度にコンパクトに鑑賞することができ、日本文化への理解が深まります。

※特別展の時期には日本画を鑑賞できない場合がございます。事前にお問い合わせ下さい。

分館爲三郎記念館

古川爲三郎の住まいだった昭和初期の数寄屋建築を一般公開しています。網代天井や山型の棧など当時の建築の粋を堪能いただけます。



数寄屋建築

茶道を楽しむための建築の総称です。分館爲三郎記念館の母屋は和室6室のうち4室は茶室として使用できるよう、茶道の「決まりごと」に添った造りをしています。また、庭園も茶道の庭に使用される常緑樹が多い造りとなっており、離れの茶室もございます。

主な施設の特徴

- 床の間に実際に掛けられている掛け軸や花器、屏風で区切られた部屋など現在では珍しい日本の伝統的な住まいを見学していただけ、実際に畳などでお抹茶を召し上がっていただけます。
- コンクリートなどを一切使用していない自然の地形を利用した庭園を散策していただけます。
- ほとんどの部屋は茶室として使用できるようになっており、特に離れの茶室「知足庵」は国宝如庵の写しで武家風の格調高い茶室です。



京都などの古都を見学しなければ体感できないと思われがちな日本の伝統文化を名古屋の中心で体感できます。※特別展時には異なる設えをしていることもございます。お問い合わせ下さい。

学校関係の団体様への特典

- 授業の一環として利用される方は申請書を提出していただければ、入館料が無料となります。
- 事前のお申し込みにより学芸員がギャラリートークをいたします。(日本語のみ)
- 事前のお申し込みによりカジュアルなお茶席をご用意いたします。(500円より)